

大島新聞

THE OSHIMA SHIMBUN

第7349号(日刊) ©大島新聞社(1982年)

6月13日 日曜日
昭和57年(1982年)

発行所
大島新聞社
鹿兒島県名瀬市小浜町21-10
〒894 振替口座 鹿兒島3971
電話 (09975) ③6333

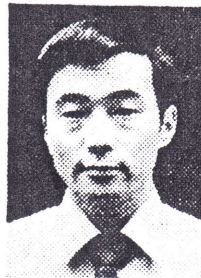
三面鏡

○「この夏は
お口に涼しいヨー

グルトストロベリ
ーや、翔んでるト
ロピカルなカクテ
ルはいかが」。名
瀬市末広町の喫茶

店「アイアイ」(幾紀和さん経
営)では十二日から二日間、関
西から講師を招き「サマーメニ
ュー」と銘打ったサービスを展
開している。

○「来瀬したのはテレビの喫
茶教室や料理番組にも出演、甘
いマスクで人気の神戸喫茶調理



専門学院講師・吉田清彦さん
「写真」。兵庫県出身で、神
戸市立外国語大イース、パニア学
科に学んだ後、「コーヒーの道」
に入った。技術相談から開店指
導まで、全国で開店指導した店
は百店を超える。

○「幾さんは吉田さんの専門
学校の門下生。本格的な夏を前
に、奄美とヒッタリのメニュー
作りを目指し、招いたもの。「地
方は良い豆など材料の入手に苦
労もあるが、料理ほど南北の差
はない。若い人はファッショ
ン雑誌など情報源が多く、それだ
け経営者のセンスが問われる。
コーヒーはもちろん、奄美では
まだ珍しいヨーグルト、シェイ
ク、トロピカルなカクテルも味
わってほしいですね」と吉田さ
ん。お値段は四五百円で「ビ
ャッコイ夏」が楽しめる。

コーヒー物語

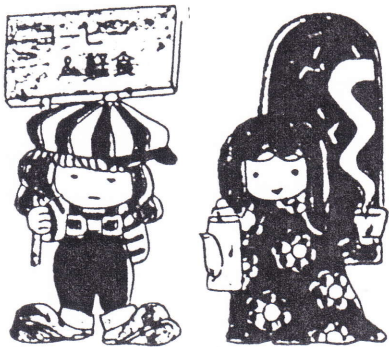
コーヒーの名前は、元は葡
萄酒であるカーファガその起
源。その後カーファはエジプ
ト、コンスタンチノープル、
シリアに渡り、トルコでカー
フェとなり、ヨーロッパで今
日いわれるカフェとなった。

コーヒーの木は、アカネ科
コーヒーノキ属の亜熱帯緑灌
木。その五弁の花びらは白く
ジャスミン香りを放つ。実は
緑色から黄色、真紅に熟して

いくところから、「コーヒー
・チェリー」とも呼ばれてい
る。

日本で最小の喫茶店は明治
21年、東京下谷の西黒門町に
開いた「可香茶館」がはじま
り。お値段はカヒー「碗金一
銭五厘、同牛乳入り「碗金一
銭。当時かけそばは一杯八厘と
いう時代なので、「可香茶館
」へ行くことはハイカラな出
来事だった。

(参考資料「素敵な交際
学」全日本コーヒー協会発行)



アイアイ

名瀬市末広町7の11恵ビル1F

☎②1989

涼味豊かな 本格サマーメニュー始める!

喫茶学校講師吉田清彦先生(神戸より来島)の指導により、
この夏話題の「サマーメニュー」を本日より始めました。

- ヨーグルト
- フラッペ
- シェイク
- トロピカル

ご賞味しませんか?!!!!

※12日、13日の2日間、吉田先生の指導があります。

軽食&喫茶 **アイアイ** 名瀬市末広町恵ビル1階
(グラハンパチンコ向い)

☎②1989